

報みようとく

題字 松川裕子

浄土真宗本願寺派妙徳寺
(安芸教区志和組)
発行責任 寺報編集委員会
東広島市八本松町飯田六〇二
電話〇八二四二八〇一四四



仏教婦人会活動について



花初参式にお参りしたお母さん。お花を飾り、お参りしたお母さん。お花を飾り、お参りしたお母さん。

今回は妙徳寺仏教婦人会会長さんに、仏教活動の紹介をしていただきます。

設立五十年以上となる妙徳寺仏教婦人会は、会員数が二十年前に比べると半減しましたが、現在は下げ止まりの状況にあり、その中でも次の三つを大切に継続して活動しています。

① 仏教法座活動

毎年四月末の大型連休直前の日曜日に開催。法座のほかに初参式と会員の追悼法要を実施。

② 川上仏婦連合

八本松川上地区の他の仏婦と協力して川上仏婦連合を組織し、法座を開催。また、それぞれの仏婦法座へ参り合いをするなど交流、連携協力をしている。

③ ダーナ活動

募財活動とお見舞い声掛け活動。(後述します※)

これらの活動を大切にしながらも、会員が減少したからこそ実施可能な、自由で小規模な活動を取り組んでいます。一年を通じて定期的にお寺に集まる活動、公民館活動とは違うお寺にふさわしい活動、お寺を助けることとなる活動を心がけ、会員を中心に参加者が増えるように声かけをして継続的に次のようなものを実施している。

写経の会

平成二十二年九月からスタート。毎月実施し続けて今年で十三年になる。

十四時からお参りで開始。住職からお経に関する話が約三十分、静かに写経を約

三十分、その後コーヒーと茶菓子と談話会で約一時間、十六時ごろに終了。

現在写経の会々員は十六名(仏婦会員以外や男性も)。初年度からの会員もおられる。高齢を理由に退会される方も、また新入会員も毎年少しずつおられる。

談話会での話題がきっかけとなり、自由参加で課外参拝も実施した。三年目で書写山園教寺、翌年は温井ダム散策と正覚寺に参拝してお香つくり体験、一年空けて浄謙寺に参拝、十年日記念として東京築地本願寺に参拝した。

コロナ禍においては「この大変な状況であるからこそ言葉をお交わすことができる場所と時間、仲間を大切にしたい」と住職に相談。基本的な衛生対応の準備の上で会員全員に丁寧な説明を

し、不安を感じられる方や体調に心配がある方には参加自粛していただくなど慎重に対応した。それでも五人の参加者があり、中止はしなかった。

古切手収集

十年ぐらいい前に古切手収集ポストを作成し、本堂に設置した。少ない枚数からでも協力いただけるようになっている。

寺報の封入手伝い

三年ぐらいい前から、寺の寺報「みようとく」(年四回発行)と護持会からのお知らせ封書の封入作業を手伝っている。間違えないように丁寧かつ効率的な作業でなくてはならず、連携と確認が必要で神経を使うが、作業完了の達成感、さらに作業効率を上げるための一体感がある。最近は一時間前

ライオン登録願

昨年の秋、私が新型コロナウイルス感染症に罹患し、翌日の秋彼岸法座を急遽中止することになった。予定していた講師に電話で事情を話してお詫びしました。が、ご門徒皆さまにはどのような連絡しようか困った

後で作業完了できるようになってきた。

毎年二月と三月にダーナ活動を行っている。

ダーナとは布施のこと。相手を思い、自分ができることを精一杯考えて行動することをいう。全国仏教婦人会連盟を通じてユニセフなどの大きな組織に献金するほか、身近な地域のボランティア組織の支援、お見舞いなどの声掛け運動などに活用させていただいている。

縁が広まりますようお願いを続けているんですよ。重ねてご理解と協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

私事ですが、次男がこの春から大学進学で京都に住まうこととなり、これで三人の子すべてが自宅から離れることとなりました。一人住まいも大切な勉強、社会人になる前の大事な経験、親でも伝えることができない、いたくさんのことを、いろんな人との出会いの中で学ぶ貴重な機会である、とはよく分かっているつもりではあります。しかし子どもたちみんなとこうして離れて暮らす生活とはしみじみ寂しくなるものがあるなあ、と思います。

親としてできるだけのことはしてきたつもりだけれど、果たして十分なことをしてきたのだろうか、どうかよき

友、よき師との出会いがあるようにと願うよりほかありません。そしてやがてこの子たちのいずれかが寺を担い、他がそれを助けてくれるようになってくれるものと願っています。

一語法話

縁が広まりますようお願いを続けているんですよ。重ねてご理解と協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

私事ですが、次男がこの春から大学進学で京都に住まうこととなり、これで三人の子すべてが自宅から離れることとなりました。一人住まいも大切な勉強、社会人になる前の大事な経験、親でも伝えることができない、いたくさんのことを、いろんな人との出会いの中で学ぶ貴重な機会である、とはよく分かっているつもりではあります。しかし子どもたちみんなとこうして離れて暮らす生活とはしみじみ寂しくなるものがあるなあ、と思います。

親としてできるだけのことはしてきたつもりだけれど、果たして十分なことをしてきたのだろうか、どうかよき

友、よき師との出会いがあるようにと願うよりほかありません。そしてやがてこの子たちのいずれかが寺を担い、他がそれを助けてくれるようになってくれるものと願っています。

思えばお経の中でお釈迦さまがお話くださった阿弥陀仏のお話とは、子の将来を願い続ける親の心であるように味わえます。

正信偈のご文に「譬えば日光の雲霧に覆はるれども、雲霧の下あきらかにして闇なきが如し」。とあります。「自らの可能性をあきらめてしまっている凡夫の私は、雲霧で覆いをしてしまっているようなものである。しかし阿弥陀仏はそんな私の中に大きな喜びと楽しみをもって日の

行事予定

四月三十日(日) 午前十時より 初参式
午後一時より 会員追弔会、法座

五月二十三日(火) 午前九時より 宗祖降誕会(しゅうそこうたんえ)

七月二日(日) 午後一時 川上仏婦連合法座

講師 安芸太田町 正覚寺 清胤 祐子 師

護持会からお願い

昨年末から、令和五年度の護持会費の納入をお願いしております。三月初め現在、約四百の皆さまから納入いただき、引き続きご

を使つて、行事の情報をお送りすることになりました。通常は定期的にまたは行事前のご登録いただいた皆さまに一斉配信することとし、非常時の配信にも備えてまいりますと思ひます。

なお、お寺にお参りいただくたびにポイントをつけていただくお楽しみもつけま

した。法座だけでなくお参りいただくたびにポイントを差し上げ、プレゼントを用意することにしていきます。何かあるかは楽しみにしていただきます。

このQRコードを読み込むか、@985fghgyを検索してください



行事予定

四月三十日(日) 午前十時より 初参式
午後一時より 会員追弔会、法座

五月二十三日(火) 午前九時より 宗祖降誕会(しゅうそこうたんえ)

七月二日(日) 午後一時 川上仏婦連合法座

講師 安芸太田町 正覚寺 清胤 祐子 師

